

シートの記入方法

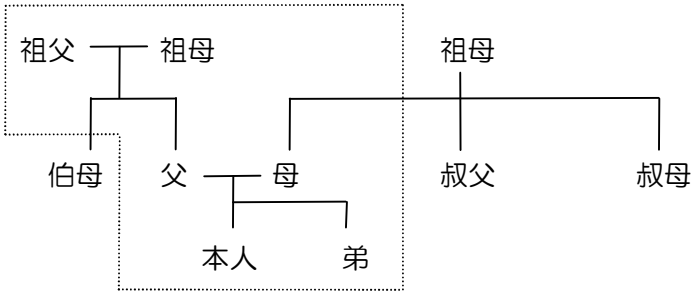
保護者の方が、記入できるところをまずはお記入ください。
療育・医療機関での検査などにつきましては、担当者にご確認ください。

1 フェイスシート

【家族構成】

氏名	続柄	生年	緊急の連絡先（携帯等）	備考 （どんな支援が具体的に）
埼玉太郎	父	S50.6	090-0000-△△△△	
浦和うめ	祖母	S20.2	090-△△△△-0000	別居 車の運転が可能なので療育機関への送迎ができる

【家族関係図】 *同居の家族を で囲んでください。



【生育歴】

* 母子手帳を参考にご記入ください。

【保育・教育歴】

	園名・学校名	備考 （転校など就学の場の変更等）
幼児期	さいたま幼稚園	
小学校	さいたま市立〇〇小学校	さいたま市立△△小学校 (H23.4、2年時に転校)

【相談歴】

期 間	相談機関名 利用サービス	相談内容	担当者
20年6月～ 年 月 (3 歳～ 歳)	〇〇区保健センター 発達相談	近所の公園に行っても同年齢の子どもと遊べない。人との関わりが持てないのかと心配だった。	〇〇

【診 断】【実施検査】 医療機関・相談機関等でも記入していただけます。

【手 帳】 再交付も記入してください。

【服 薬】

2 理 解 シ ー ト

【将来に向けての保護者の願い / 心配なこと】

- ・周りのお友だちと関わりあいながら、コミュニケーションが図れるようになってほしい。
- ・幼稚園(保育園)で、遊びのルールが分からず友だちとトラブルになることが多い。
- ・人との関わりが苦手で、一人であることが多い。

【子どもの好きなこと / 苦手なこと】

- *得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いことなど
 - ・ブロックや粘土で動物や恐竜を作ることが好きである。
 - ・テレビアニメのキャラクターの名前を覚えることが得意である。
- *苦手なこと、嫌いなこと、さげなければならないこと
 - ・ことばの理解が未熟であるために、筋道を立てて経験したことを話すことが苦手である。
 - ・1桁の繰り上がりのないたし算、くり下がりのないひきざんはできるが、文章題が苦手である。
 - ・聴覚過敏の傾向があり、予測していない大きな音が苦手である。何の音であるかが分かれば安心するが、分かるまで不安が続く。

【生活上で必要な補助具】

- *肢体に不自由がある場合
 - ・車椅子、歩行器、歩行補助つえ
 - ・座位保持いす、頭部保持具、起立保持具
 - ・スプーン、フォーク（柄を太くして握りやすく、回転して水平を保つようにしたもの）
 - ・くつ
- *視覚に不自由がある場合
 - ・拡大鏡
- *聴覚に不自由がある場合
 - ・補聴器、FM補聴器
 - その他、生活上で必要な補助具、自助具

【そ の 他】

- *こだわりやその他ご心配なことがありましたら、ご記入ください。
 - ・常同運動がある。
 - ・出歩く。
 - ・大きな声を出す。

【就学相談の記録 A】 * 就学相談において、相談担当者で作成します。

項 目		現 在 の 状 態				
生 活 ・ 行 動	食 事	介助	半介助	一部支援	自立	【教育的ニーズ(聴取・行動観察)】
	排 泄	介助	半介助	一部支援	自立	
	着 脱	介助	半介助	一部支援	自立	・衣服の前後の区別がつかないので、印をつけるようにする。
	安 全 (危険認識・医 療的ケア等)	難	何とか	一部支援	可能	・視覚的に反応するので、興味を示しそうな物に留意する。
	運 動 (移動・階段・ 手指等)	不安定	やや 不安定	ほぼ安定	良好	
学	表出言語	なし	1 語文	2~3 語文	多語文	・じっくりを聞いて、言いたいことが伝えられるようにする。

* さいたま市教育委員会は「就学支援」の考え方で就学相談を進めます。

それは、現在の本人の状態(特性)について共通理解を図り、現在の困難さを改善又は克服するための手立てについて、そして、小学校へ入学したときの教育的ニーズについて話し合います。

また、このページは、幼稚園・保育園・療育機関等(幼児教育)から小学校(学校教育)へスムーズな移行(適応)ができるようにするため活用するシートです。

【就学相談の記録 B】 * 当てはまるものに○をつけてください。

	視 力	裸 眼 右 (0. 1) 左 (0. 1) 矯 正 右 (0. 5) 左 (0. 5)
	視	○ 5m離れたところから、人の顔がわかる。
○ めがねやルーペを使えば、文字の読み書きができる。		
極端に目を近づけて、ものを見る。		
○ 不自然に顔を動かして、物を見る。		
歩く先を足でさぐりながら歩く。		
覚	○ 周辺のものに気づかずにぶつかったり、つまづいたりする。	
	明るいところでは、まぶしがる。	
	見えてはいないが、光に対する反応はある。	
	暗いところでは、見えない。	
	○ 学校では、拡大教科書を使用する。	

3 支援シート I～VI ☆☆☆ 個別の教育支援計画 ☆☆☆

このシートは、幼児教育から学校教育において、「これまでの支援」を「これからの支援」に引継ぎ、情報を伝え合い共有することで、お子さんにとってよりよい支援を目指すためのものです。

お子さん自身の願い、保護者の方の願いに寄り添って支援していくためにも、お子さんの実態を正しく把握し、必要な支援を関係機関と話し合いながら考えていきましょう。切れ目のない支援と連携が図れるようご活用ください。

支援シートは、本人及び保護者が関係機関とともに作成しご記入ください。

【本人の思い】

【保護者の願い】

☆ 学 習 面 ・漢字がたくさん書けるようになりたい。	☆ 学 習 面 ・丁寧に文字が書けるようになってほしい。
☆ 生 活 面 ・落とし物をしないようにする。	☆ 生 活 面 ・学校の準備を自分でできるようになってほしい。
☆ 社会性・対人関係 ・友だちとなかよく遊びたい。	☆ 社会性・対人関係 ・友達と仲良く過ごしてほしい。

【個別の支援計画】

項 目	3 年 生		4 年 生	
	計 画 (Plan)	取組状況 (Do)	計 画 (Plan)	取組状況 (Do)
家庭生活	使ったものは、自分で片付けることができる。	おもちゃの置き場所を明確化したところ、自分で片付けられるようになってきた。		
学 習	字を丁寧に書くことができる。 発表の順番を守ることができる。	早く終わらせたいので、まだ乱雑。 学級のルールを守れるようになった。		
生 活 ・ 行 動	集団活動に参加できる。	集会、朝会等長い時間参加できた。		
社 会 性 ・ 対人関係	友だちにやさしい口調で話す。 子どもだけで遊ぶことができる。	時間をおいて自分の言動を振り返ることが見られるようになってきた。		
そ の 他	安定した情緒で過ごす。	担任の他、学年の先生との関係もよく指示も通りやすくなった。		

※ 高等学校・高等部における個別の教育支援計画の項目は、自分で記入してください。